

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：栄養疫学の学問概念、栄養疫学研究の方法、栄養疫学から得られる知見の理解と活用方法に関する知識と技術を修得することを目的とする。この授業を受講すると、栄養疫学研究を正しく計画・実施・解釈できる能力を修得できる。人間を扱う分野を専攻する学生ならびに、その分野への就職を希望する学生には必須の科目である。

授業の概要：食事アセスメント法を中心として、研究計画の立て方、データの取り扱い方、解析技術、栄養健康情報の読み方と使い方について重点的に講義を行う。

【授業計画】

- ① 栄養疫学の基礎と歴史
- ② 栄養疫学における測定法理論
- ③ 記述疫学の理論と実際
- ④ 観察研究の理論と実際
- ⑤ 介入試験の理論と実際
- ⑥ 系統的レビューとメタ・アナリシス
- ⑦ 栄養疫学における研究論文の探し方と読み方

【授業外学習】

教科書を熟読したうえで講義に臨むこと。特に、自分の研究に活かすという視点で読むこと。また、食事アセスメントの実習も授業外学習に含める（授業中に指示する）。

【成績評価の方法・基準】

授業時の質疑応答（50%）と、授業後に課するレポート（50%）で評価を行う。

【教科書】

・行動栄養学とはなにか！

女子栄養大学出版部、2023。2,700円＋税

【参考書】

・わかりやすいEBNと栄養疫学。佐々木敏、同文書院、2005。2500円＋税

・佐々木敏の栄養データはこう読む！（第2版）

女子栄養大学出版部、2020。2,500円＋税

・佐々木敏のデータ栄養学のすすめ

女子栄養大学出版部、2017。2,600円＋税

【教材】

必要に応じて授業中に配布する。

【備考】

特になし